

平成28年4月25日

各 区 長 様

「浜村温泉館」存続署名活動について（ご報告）

4月18日（月）、鳥取市役所に「浜村温泉館存続要望の署名」を届けてまいりました。

2月1日から3月31日までの2か月間に、皆様のご協力によりまして4013名の署名をいただきました。当初は、温泉館のフロントを利用し1000名の署名を目標にスタートしましたが、取り組みが浸透する中で、活動範囲も浜村地区公民館さらに浜村温泉商店会へと広がり、署名活動は4013名という大勢の賛同者を得ることができました。あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。

署名いただいた4013名の内訳は別紙のとおりですが、鳥取市内はもちろん、市外・県外からの署名も多く、今更のように、温泉館の存在意義を認識した次第です。

市役所訪問の当日は、経済観光部の太田部長さんを訪ね、署名を届けました。そのあとの話し合いでは、市側の今後の取り組み状況の説明と励ましの言葉をいただきました。そして、温泉施設存続だけを目標にするのではなく、鳥取市西部地域の観光振興や、地域活性化とどう結び付けていくのか、さらに、地域としてこれらの問題を、組織立って取り組む体制づくりの必要性等、もう一度原点に立ち返ってみる視点もご示唆いただきました。温泉館存続については、7月ごろをめどに検討を始められるそうです。

この日の話を受け、現在気高町にある様々な組織での存続運動の取り組みを一本化し、さらに地域づくりをも含む活動へと発展していかなくてはならないと思いました。気高中学校の生徒たちの署名活動への励ましの言葉や、浜村小学校の3年生が、「私たちの宝物さがし」の一貫で、温泉館に入浴をしてくれたことなど、子どもたちにもこの活動の輪は意識されたように思います。町づくりをみんなが当事者意識を持って臨むいい機会です。

市役所での話にもありましたように、これから山陰道や気高道（仮称）の整備を好機ととらえ、温泉施設存続運動で終わることなく、今こそ浜村のそして鳥取市西部地域の活性化へとつながる機運を町民みんなで作り上げる絶好の機会としていきたいと思います。

今回の署名活動につきましては、本当にお世話になりました。

ありがとうございました。 以上で報告終わります。

浜村温泉を守る会 有志代表

中田久司 恩田孝 木下公明

署名内訳

	町内	市内	市外	県外	計(人)
温泉館	564	1079	201	283	2127
公民館	873				873
浜村温泉商店会	718	189	30	5	942
個人		71			71
計(人)	2155	1339	231	288	4013

総計	4013人
----	-------

太田経済観光部長に署名を届ける中田さん

平成28年4月18日午後1時半



平成28年3月11日日本海新聞



今月限り休館「浜村温泉館」

地元の
児童ら
学習

馬取市気高の児童が、公民館となる市温泉館を訪れ、市内の歴史の学習体験として、温泉を堪能することを目的とした。浜村温泉館にて全国初の「おひさま温泉」を開催し、おひさま温泉に合わせたメニューが好評だった。

はくはくふーろせし